

労働災害防止活動の目標

実習生における昨年の労災事故は、フォークリフト誘導中の荷崩れ、クレーンによる吊荷の落下、玉掛けワイヤー切れの荷の落下、機械設備に起因するものなど重篤な災害が発生しています。

職場にある危険有害要因を的確に洗い出し、事故につながる危険を取り除くための重点対策事項等を積極的に進めていただきますよう特段のご配慮をお願いします。

1 アイム・ジャパンのスローガン

『安全は家族の願い みんなの願い』

2 危険防止のための重点対策事項について

- (1) 安全装置・安全カバーの取付
- (2) 作業方法、作業手順の遵守及び見直し
- (3) 粉じん、有機溶剤などの有害業務に対する作業環境の改善
- (4) 保護メガネ、防じんマスク、耳栓など作業に応じた保護具の着用
- (5) 作業主任者や職長による適切な作業指揮の確立
- (6) 技能講習、特別教育など一定の要件を必要とする業務の資格確認
- (7) 「指差し呼称」の推進及び定着
- (8) 危険予知訓練(KYT、一人KYT) ヒヤリハット運動など安全衛生教育の促進
- (9) 熱中症の予防

3 労働安全衛生受入企業自主点検の実施について

全国安全週間中に、各受入企業が行う災害防止活動の取組に合わせて、「労働安全衛生受入企業自主点検票」による総点検をお願いします。

自主点検票に沿って点検を行い、その結果を踏まえ改善・検討の取組をお願いいたします。

なお、ご記入いただきました自主点検票は、貴社の安全評価にご活用ください。
(点検票の提出は不要です。)

4 実習生の安全意識を高めるための啓発について

(1) 実習生への指導

災害事例の特徴を踏まえ、①「グラインダー作業等における保護メガネ・保護具の適切な着用」②「作業手順、作業標準の理解と厳守」③「規律ある服装・安全装備」に関してご指導くださいますようお願いいたします。

また、安全確認、安全作業手順及び作業標準の厳守の観点から「指差呼称」を習得させるようお願いいたします。

(2) 安全衛生ステッカー（危険標識）配付による啓発

作業上の注意を実習生に促すための安全衛生ステッカー（受入実習生の母国語版）を新規受入企業及び希望される受入企業に配付（各1組）いたします。作業現場や宿舎などの適当な場所に掲示して労働災害防止の注意喚起にご利用ください。

(3) 安全衛生大会への参加

当機構ではAIM・ジャパン安全衛生大会・実習生休日の集いを実施予定としております。

なお、安全衛生大会の日程等は新型コロナウイルスの感染状況を勘案して、別途決定いたしますので、開催の際には実習生が参加できますようにご協力をよろしくお願いいたします。

5 就業制限業務及び特別教育の未修了者の就業禁止について

一定の資格を必要とする床上操作式クレーン運転（吊上げ荷重5t以上）、玉掛け作業（吊上げ荷重1t以上）、フォークリフト運転（最大荷重1t以上）等の法令で定める就業制限業務に実習生に従事させる場合は、登録教習機関が行う技能講習を受講して資格を取得させてから、これらの業務に就かせるようにお願いします。

また、アーク溶接業務、吊上げ荷重5t未満のクレーン運転業務、吊上げ荷重1t未満の玉掛け業務、フルハーネス型安全帯の使用など労働安全衛生規則第36条に定める業務に従事させる場合は、法定の特別教育を実施してください。

なお、当機構では、実習生が技能講習を受け易くするため、登録教習機関（IHI技術教習所東京センター・東京都江東区新砂 1-10-17）と提携して本部で技能講習（床上操作式クレーン、玉掛け、フォークリフト）を実施しています。技能講習には通訳の配置と外国語訳補助テキストを用意した特別コースにより理解力を高めるように考慮しています。（技能講習の受講手続き等につきましては、当機構の企業担当者にお尋ねください。）

以 上